高濱正伸の

大人にも効く算数サプリ

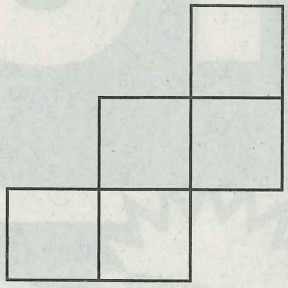
問題 難易度 ★☆☆☆☆

図の五つのマスに１～５の数字を以下のルールに従って入れてください。

①５に上下左右いずれかで隣接する数の和は５

②１番下の段の和と真ん中の段の和の差は５

③４の下は３



解きやすいルールにまず注目

昨今、マスを埋めていく「数字パズル」の種類が増える一方です。あちこちで本や雑誌も出ているので、慣れた人には簡単な問題だったかもしれません。

この問題は、実は、問題文をくまなく正確に読み取って、書かれていない条件を探し出すことがテーマです。マスが少ないので簡単でしたが、多くなると、途端に難しくなります。それでも基本的にやるべきことは同じです。

三つのルールのうち、あなたはどのルールに目をつけましたか？　一番わかりやすいのは③です。「４の下は３」というのですから、４が一番下の列であるわけはないですよね。しかも下にマスがある。ということは、中央列か右列の上しかありませんね。

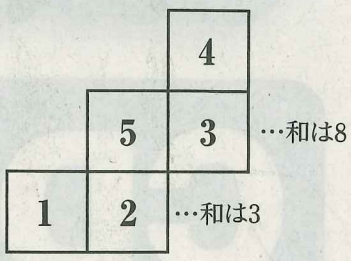
まずは、中央列に入れて考えてみましょう。①の「５の上下左右にある数の和は５」からいうと、５は１と４に隣りあう位置に入り、残った２は左下に来ることが決まります。では、これで②のルールを満たしているか確認してください。一番下の段の和は５。真ん中の段の和は９。９－５＝４。あれ？　ルール通りではないですね。

では、「４」をもう一つの場所、右列の上に入れてみましょう。右列の下は３。５が３と２に隣り合うようにすると、下段と中央段のそれぞれの和は３と８。差は５。出来た！

さらっと流して書きましたが、この問題を解くにあたって、大切なことはルールを考える順番です。①から考えていくと、場合わけのパターンが多くなってしまいます。

教室ではよく、手が止まってしまっている子に「１番目から考えなくてもいいんだよ。条件の絞られるところから考えていこう」と声をかけます。そうすると、突破口が見えて、解ける子も少なくありません。

これは、大人になってぶつかる壁も同じではないでしょうか。仕事の進め方、資料の整理の仕方……。一つ一つの作業はよくできているからこそ、工夫のしがいがある。家で子どもにお手伝いをさせる時も、「上から下へ拭いて」などと一定の条件を与えてみるといいですよ。

（算数オリンピック委員会理事・学習塾代表）

解答